

# 組織活動報告（技術センター全体）

技術副統括 勇木 義則



## 技術センターの可視化と共通認識

— 技術センターを問われたら、どう答えますか？ —

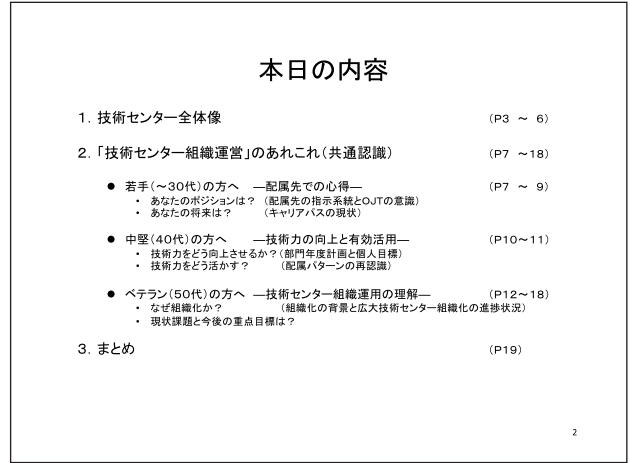
教育・研究棟B

第5回広島大学技術センター研修会

平成20年12月4日(木)

技術副統括 勇木 義則

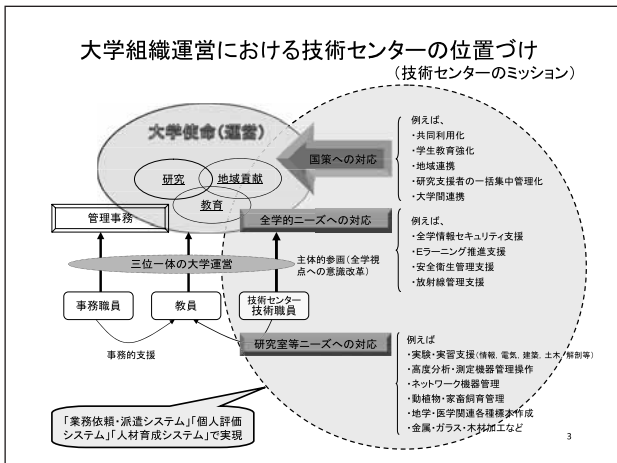
1



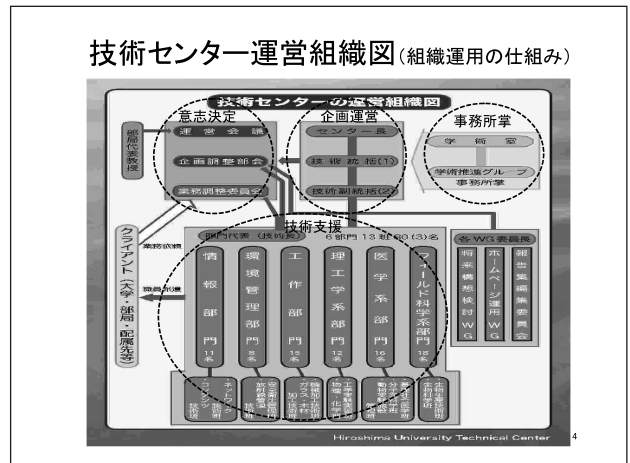
## 本日の内容

- 技術センター全体像 (P3 ~ 6)
- 「技術センター組織運営」のあれこれ(共通認識) (P7 ~ 18)
  - 若手(〜30代)の方へ — 配属先での心得 — (P7 ~ 9)
    - あなたのポジションは？ (配属先の指示系統とOJTの意識)
    - あなたの将来は？ (キャリアパスの現状)
  - 中堅(40代)の方へ — 技術力の向上と有効活用 — (P10~11)
    - 技術力をどう向上させるか？ (部門年度計画と個人目標)
    - 技術力をどう活かす？ (配属パターンとの再認識)
  - ベテラン(50代)の方へ — 技術センター組織運用の理解 — (P12~18)
    - なぜ組織化か？ (組織化の背景と広島技術センター組織化の進捗状況)
    - 現状課題と今後の重点目標は？
- まとめ (P19)

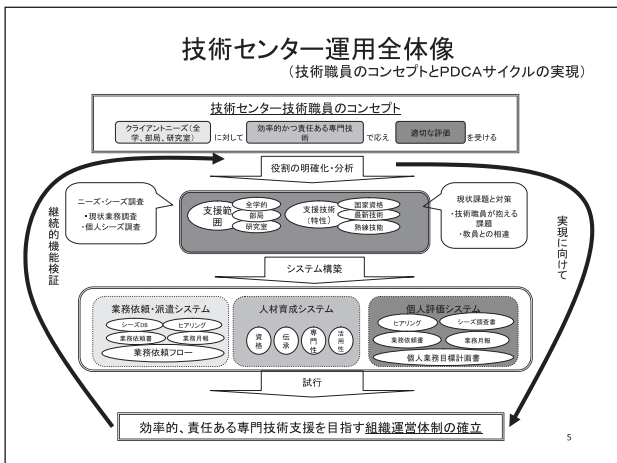
2



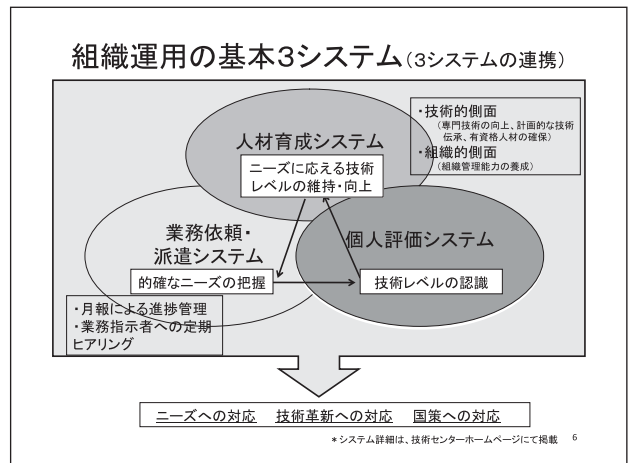
3



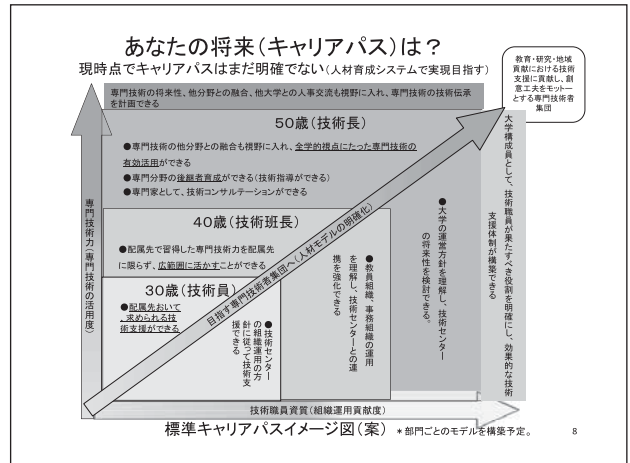
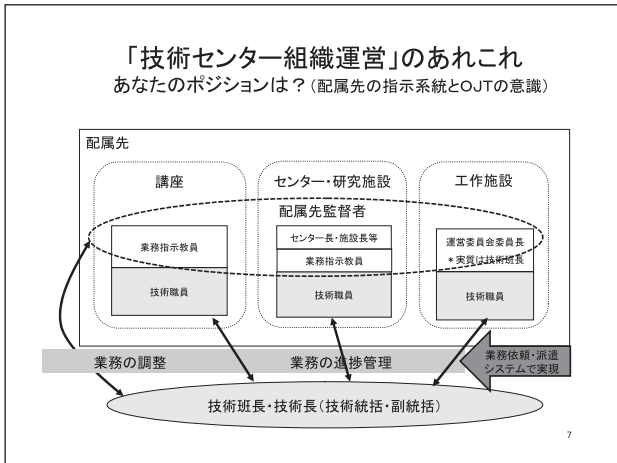
4



5



6



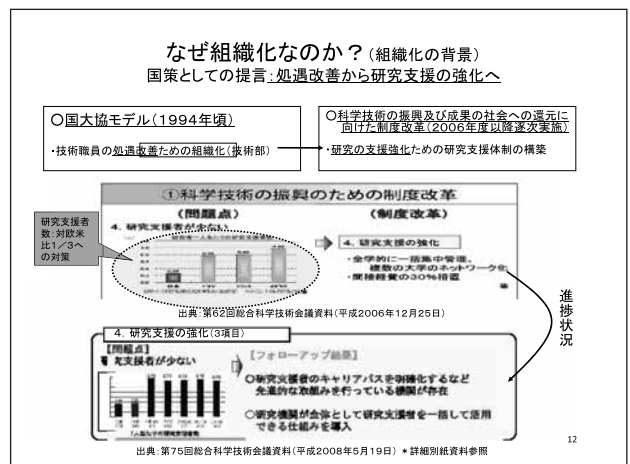
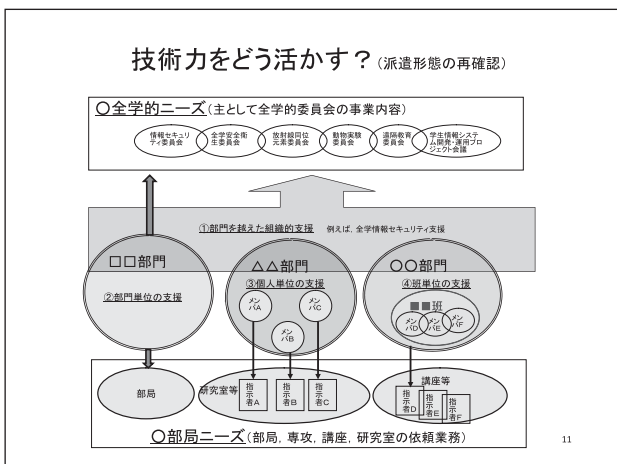
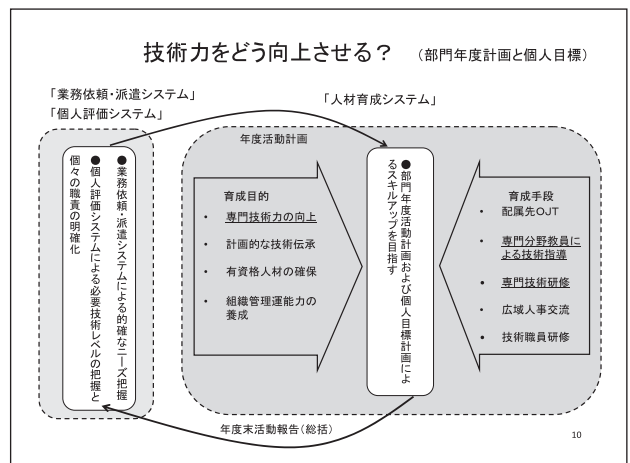
### 目指して欲しい技術者像(文献引用)

(キャリアパスのイメージ(技術的側面))

I型技術者	自分の専門をまず作る 原理・原則をしっかり学ぶ
T型技術者	専門以外の幅を広げ、広い視野を持つ
II型技術者	さらに専門を増やし、物事の本質を見抜く力 を身につける
最終目標	その先は、もう一段上を目指す。 *標準キャリアパスイメージ図(案)に近いので引用

出典:「大学で技術者倫理を教えた学んだこと」細谷陽三著、技術士 2008. 4

9



### 広大技術センターの進捗状況(その1)

(キャリアパスの明確化は、調査設置)  
〔基本方針: 技術的側面と組織的側面をリンク、部門に適したキャリアパスの構築(P8参照)〕

#### 1. 進め方(技術的側面): 充実な職務分析、先行例の情報収集など

部門	ニーズ	必要スキル	目標とするサービス(例)	効果的手法(例)
情報部門	HINET2007運用支援	HINET2007の技術指導	HINET2007の運用処理 データ転送エンジニア、ネットワーク系情報セキュリティの資格者	HMCでのOJT グループ勉強会 研修実施(講師)
	個別HP作成支援	HP作成コンサルテーション	Webデザイン技能取得者	研修業務での実践 民間セミナー研修
	メディア編集支援	撮影、メディア編集&コンサルテーション	画像編集、映像編集スキルキャリアリスト	研修業務での実践 民間セミナー研修 WebCT支援WG参加
	郵局サーバ/PC室管理支援	各種OS理解、アプリケーションインストール、バックアップ/リストア、ログ解析	テクニカルエンジニア(システム管理) 資格者 サーバ/PC管理経験者	HMCでのOJT 民間セミナー研修 研修業務での実践
データベース系	データベースシステム構築・管理支援	SQLの知識・実用	テクニカルエンジニア(データベース) 資格者 データベース構築・管理経験者	民間セミナー研修 研修業務での実践
	安全衛生遊覧支援	第1種衛生管理者	作業環境測定士 衛生工学衛生管理者	グループ勉強会
環境管理部門	放射線施設管理支援	放射線施設管理および利用者教育	放射線管理取扱主任者	グループ勉強会 民間セミナー研修
医学系部門	病理標本作成支援	病理標本作製技術	1級2級解剖技術士 臨床検査技師	グループ勉強会 ゼミ/セミナー参加
理工学系部門	実験実習	実験実習指導管理、実習教材作成	電気工事取扱主任者(電気系実務管理確保) 学芸員能力	グループ勉強会 ゼミ/セミナー参加
全部門共通	配属先の研究室・センター必要の長が必る組織運用に必要な技術全般	必要と専門技術 組織運用の把握	必要資格 組織運用の改善・提案の技術 組織内研修指導	組織内教育

職務分析 13

### 2. 進め方(組織的側面): 職階・職責の実践、事務組織との連携、先行事例の収集(処遇とのリンクには、管理能力は必要)

組織管理要件	技術員、技術主任、技術専門職員	技術班長	技術長	技術副統括、技術統括	効果的手法(例)
組織運営の基本知識	大学組織運営、技術センター組織運営、技術センター取組	○			一般職員初任者研修 技術職員初任者研修
マネジメント	時間管理(業務時間配分)	○	◎	◎	民間セミナー研修 個人目標管理トレーニング、月次報告セアング
	人的管理(育成指導)		○	◎	技術職員中堅者研修 個人目標管理トレーニング、月次報告セアング
コミュニケーション	組織管理(人事管理、企画運用、組織運営・経営)		○	◎	技術職員管理者研修 2年度活動計画プレゼン&総括報告会
	プレゼンテーション	◎	◎	◎	技術研修会・研究会、学会発表 民間セミナー研修 ビデオ撮影
	カウンセリング		○	◎	キャリアカウンセリング資格取得 民間セミナー研修 ハラスメント相談室講習

組織管理能力 14

### 広大技術センターの進捗状況(その2)

(研究支援者を一括して活用できるしくみに、ほぼ達成)

- 技術センターの中期計画
  - 教室系技術職員の配置については、全学的な人員の一括管理の方針により行う。
- 年度計画の最終成果
  - 「教育・研究を支える技術支援を、計画的・効率的・効果的に実行する組織の確立」
- 年度計画の基本方針
  - 「全学的な人員管理の方針の下、教室系技術職員については各部署等の意見・要望等を含めて、技術センター運営会議で限られた資源の効率的・弾力的利用を推進する。」

出典: 平成20年度国立大学法人広島大学中期計画及び平成16年度～平成21年度年度計画(二次案)

平成20年4月に部局主体から機能主体に改組  
基本3システムで変化に柔軟な運営体制の確立

➔

広大技術センターは、技術職員の全学的組織化の先進組織

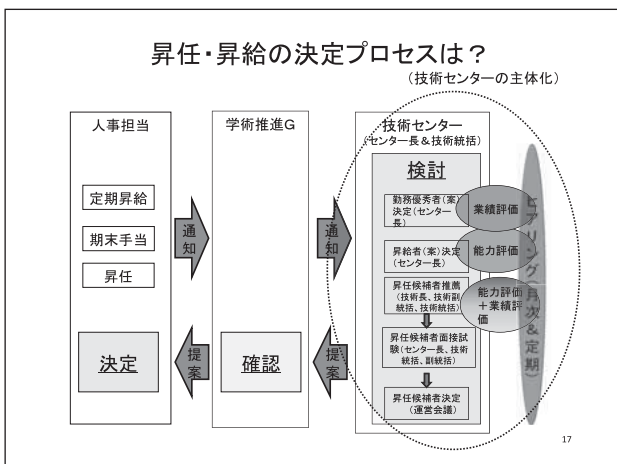
15

### 広大技術センターの進捗状況(その3)

(部門改組による成果)

- 職階・職責の明確化による、組織の機動性向上
  - 班長会議(これはまだ)、技術長会議、各部門会議の実体化
  - 昇任、昇給評価は技術センターが主体に
- 専門分野の職員集合化による、技術共有と組織的な技術総合力の向上
  - 全6部門による全学情報セキュリティの維持管理支援
  - 情報部門によるWebCT支援
  - 環境管理部門における配属先を越えた放射線管理
  - 医学系部門における配属先を越えたプレバート作成技術共有
  - 工作部門における理学部・工学部の施設を越えた金属加工処理

16



### 現状課題と今後の重点目標

(課題と目標の共有)

- 現状課題
  - 職責に見合う処遇改善
  - 運営費の担保
    - 外部資金獲得への意識改革、課金運用の検討
  - 配属先部局との調整
    - 配属先原資による出張旅費、PC購入等
    - 配属先教員の技術センター組織運営への要する理解
    - 研究室管理設備の全学的利用への協力調整
  - 労務管理
    - 遠隔地対策・月報運用の有効活用
    - 時間外労働:TA、契約職員の採用検討
    - 技術センター居室確保
- 今後の重点目標
  - 教員組織、事務組織に次ぐ、第3組織としての全学的な技術支援組織の早期確立
    - 外部評価実施
    - 安定的技術伝承の確立
    - 個々の専門技術の向上
    - 地域貢献
    - 外部資金の獲得
  - 中国・四国技術職員代表者会議の機能化

18

## まとめ

- 22年度の本格運用に向けて、今後様々な局面で、技術センターの真価が問われます。
- 共通認識を持って、技術センターの定着化へ、一丸となって取り組みましょう。
- 広島大学技術センターは、全学組織化の先進組織として今後益々、注目されるでしょう。
- 組織化のみが先行するイメージとなってしまうのは、技術支援組織としては本末転倒です。
- 専門技術者集団としての本分を忘れずに、各々しっかりと技術力を高め、研究・教育・地域貢献を担っていきましょう。
- ご協力よろしくお願いします。

ご静聴ありがとうございました。

19